

<事業実施計画>

事業名	小学校施設整備事業			
事業期間	令和4年度	～	未定	総合戦略 (5) — ②



区分	継続	会計区分	一般会計	担当部署	部(局)	教育部
					課(室)	教育総務課

事業目的	小学校の施設について、老朽化等に対応して計画的な整備を行い、教育環境の改善を図ります。	
事業内容	小学校の教育環境の改善としてトイレの洋式化改修を行います。	

<財政計画>

年度	令和4年度		～	令和5年度			
行動計画	令和4年度		令和5年度		令和6年度	財源内訳	
	トイレ洋式化工事 (三雲小学校・石部南小学校) トイレ洋式化設計 (菩提寺北小学校・下田小学校)		トイレ洋式化工事 (菩提寺北小学校・下田小学校)			国庫	千円
予算	40,040 千円		22,219 千円		千円	県費	千円
						地方債	46,600 千円
						その他	千円
						一般財源	15,659 千円
						合計	62,259 千円

<令和4年度 主要事業進捗管理>

点検・評価				
四半期	計画	実績	達成度	計画より実績が下回っている理由 および対策
1	4月 入札準備 4月 契約審査会 5月 入札 6月 契約 6月 工事・設計着手			
2	7～9月 現地調査および工事工程等の調整 9月末 工事完了			
3	10・11月 現地調査および設計協議 11月末 設計完了			
4				

(達成度) A:計画どおり達成 B:計画を80%達成 C:計画を50%以上達成 D:計画の達成が50%未満

令和4年度末（事業終了後）のすがた

甲西北中学校のトイレ洋式化工事が完了しており、石部中学校のトイレ洋式化工事設計が完了しています。

事業執行にあたり問題（懸念）となること

特筆すべき事項はありません。



総合評価

（今年度の成果、今後の事業展開、改善事項等）

達成度

（達成度） A:計画どおり達成 B:計画を80%達成 C:計画を50%以上達成 D:計画の達成が50%未満

<国・県への要望事項>

事業執行にあたり支障となった事項

--

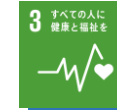
国に対する要望

県に対する要望

--	--

<事業実施計画>

事業名	中学校施設整備事業			
事業期間	令和4年度	～	未定	総合戦略 (5) — ②



区分	継続	会計区分	一般会計	担当部署	部(局)	教育部
					課(室)	教育総務課

事業目的	中学校の施設について、老朽化等に対応して計画的な整備を行い、教育環境の改善を図ります。	
事業内容	中学校の教育環境の改善としてトイレの洋式化改修を行います。	

<財政計画>

年度	令和4年度		～	令和5年度				
行動計画	令和4年度		令和5年度		令和6年度		財源内訳	
	トイレ洋式化工事 (甲西北中学校)		トイレ洋式化工事 (石部中学校)				国庫	千円
	トイレ洋式化設計 (石部中学校)						県費	千円
							地方債	30,000 千円
							その他	千円
予算	29,904 千円		10,255 千円		千円		一般財源	10,159 千円
							合計	40,159 千円

<令和4年度 主要事業進捗管理>

点検・評価				
四半期	計画	実績	達成度	計画より実績が下回っている理由 および対策
1	4月 入札準備 4月 契約審査会 5月 入札 6月 契約 6月 工事・設計着手			
2	7～9月 現地調査および工事工程等の調整 9月末 工事完了			
3	10・11月 現地調査および設計協議 11月末 設計完了			
4				

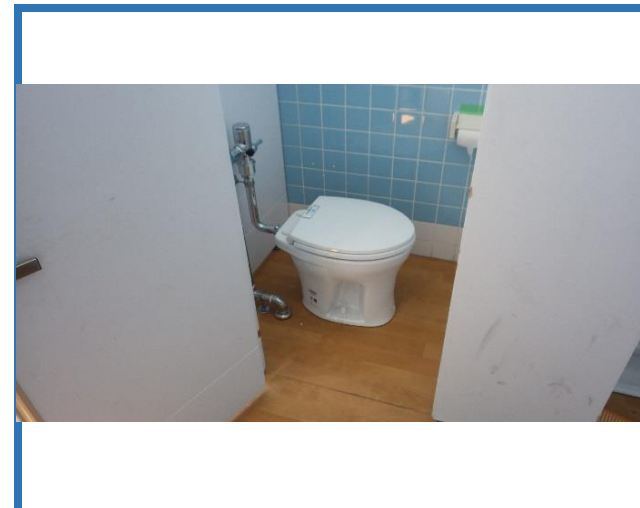
(達成度) A:計画どおり達成 B:計画を80%達成 C:計画を50%以上達成 D:計画の達成が50%未満

令和4年度末（事業終了後）のすがた

甲西北中学校のトイレ洋式化工事が完了しており、石部中学校のトイレ洋式化工事設計が完了しています。

事業執行にあたり問題（懸念）となること

特筆すべき事項はありません。



総合評価

（今年度の成果、今後の事業展開、改善事項等）

達成度

（達成度） A:計画どおり達成 B:計画を80%達成 C:計画を50%以上達成 D:計画の達成が50%未満

<国・県への要望事項>

事業執行にあたり支障となった事項

--

国に対する要望

県に対する要望

--	--

<事業実施計画>

事業名	日本語初期指導教室運営経費			
事業期間	令和4年度	～	未定	総合戦略 (5) — ②



区分	継続	会計区分	一般会計	担当部署	部(局)	教育部
					課(室)	学校教育課

事業目的	日本語の初期指導が必要な外国籍の児童・生徒に教育支援を行うことにより、外国籍の児童・生徒の就学と学習効果を向上させるとともに、その保護者をも支援することで、保護者の教育への関心を高めることを目標としています。	
事業内容	日本語教室を充実します。 日本語初期指導教室の有効活用など支援を充実します。 通訳、母語支援員や通訳機器の配置を充実します。	

<財政計画>

年度	令和4年度 ～ 令和6年度				
行動計画	令和4年度	令和5年度	令和6年度	財源内訳	
	<ul style="list-style-type: none"> 通訳、母語支援員の拡充 翻訳機器の配置増 指導員の拡充と指導力向上 	<ul style="list-style-type: none"> 通訳、母語支援員の拡充 翻訳機器の配置増 指導員の拡充と指導力向上 	<ul style="list-style-type: none"> 通訳、母語支援員の拡充 翻訳機器の配置増 指導員の拡充と指導力向上 	国庫	千円
予算	7,903 千円	7,903 千円	7,903 千円	県費	千円
				地方債	千円
				その他	千円
				一般財源	23,709 千円
				合計	23,709 千円

<令和4年度 主要事業進捗管理>

点検・評価				
四半期	計画	実績	達成度	計画より実績が下回っている理由 および対策
1	<ul style="list-style-type: none"> ・4月～7月の計画立案 ・日本語指導、生活適応指導 ・保護者懇談会、学習参観、発表会、修了式 ・学習記録票の作成・活用 ・在籍校との連携＝引継ぎ、顔合せ ・運営会議＝7月(学校教育課＋室長) 			
2	<ul style="list-style-type: none"> ・9月～12月の計画立案 ・日本語指導、生活適応指導 ・保護者懇談会、学習参観、発表会 ・学習記録票の作成・活用 			
3	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語指導、生活適応指導 ・保護者懇談会、学習参観、発表会、修了式 ・学習記録票の作成・活用 ・在籍校との連携＝引継ぎ、顔合せ ・運営会議＝12月(学校教育課＋室長) 			
4	<ul style="list-style-type: none"> ・1月～3月の計画立案 ・日本語指導、生活適応指導 ・保護者懇談会、学習参観、発表会、修了式 ・学習記録票の作成・活用 ・在籍校との連携＝引継ぎ、顔合せ ・運営会議＝3月(学校教育課＋室長) 			

(達成度) A:計画どおり達成 B:計画を80%達成 C:計画を50%以上達成 D:計画の達成が50%未満

令和4年度末（事業終了後）のすがた

日本語の初期指導が必要な外国籍の児童・生徒に教育支援を行うことにより、外国籍の児童・生徒と保護者の支援に繋がり、教育への関心が高まる家庭環境が作られるとともに、在籍校での生活へスムーズに移行できるようになる。

事業執行にあたり問題（懸念）となること

通訳者の確保が困難になっている原因の一つに、職員手当額の低さがあります。同職種で近隣市町の職員手当が高いため、そちらに流れている傾向が顕著であり、今後も日本語初期指導教室を運営していくためには、手当額の増額が必要です。市内移住の外国人で、ポルトガル語やスペイン語以外の言語を母国語とする方々が増えてきているため、通訳者の確保が今まで以上に必要です。



総合評価

（今年度の成果、今後の事業展開、改善事項等）

達成度

（達成度） A:計画どおり達成 B:計画を80%達成 C:計画を50%以上達成 D:計画の達成が50%未満

<国・県への要望事項>

事業執行にあたり支障となった事項

--

国に対する要望

県に対する要望

--	--

<事業実施計画>

事業名	インクルーシブ教育事業			
事業期間	令和4年度	～	未定	総合戦略 (5) — ②



区分	継続	会計区分	一般会計	担当部署	部(局)	教育部
					課(室)	学校教育課

事業目的	特別な支援を必要とする児童・生徒の自立と社会参加の加速化に向けた取組の充実を図ります。また、特別な支援を必要とする児童・生徒への合理的配慮の充実を図ります。
事業内容	合理的配慮コーディネーター、発達障害支援コーディネーター、巡回相談員、合理的配慮協力員等、インクルーシブ教育の土台となる人的な基礎的環境整備。 特別支援学級における合理的配慮の提供状況の充実。



<財政計画>

年度	令和4年度 ～ 令和6年度				
行動計画	令和4年度	令和5年度	令和6年度	財源内訳	
	・合理的配慮コーディネーター、発達障害支援コーディネーター、巡回相談員、合理的配慮協力員を活用し、支援を要する児童・生徒だけでなく、周囲の児童・生徒、教師の関わり方へ意識を向ける。	・合理的配慮コーディネーター、発達障害支援コーディネーター、巡回相談員、合理的配慮協力員を活用し、支援を要する児童・生徒だけでなく、周囲の児童・生徒、教師の関わり方へ意識を向ける。	・合理的配慮コーディネーター、発達障害支援コーディネーター、巡回相談員、合理的配慮協力員を活用し、支援を要する児童・生徒だけでなく、周囲の児童・生徒、教師の関わり方へ意識を向ける。	国庫	千円
予算	1,017 千円	1,017 千円	1,017 千円	県費	千円
				地方債	千円
				その他	千円
				一般財源	3,051 千円
				合計	3,051 千円

<令和4年度 主要事業進捗管理>

点検・評価				
四半期	計画	実績	達成度	計画より実績が下回っている理由 および対策
1	<ul style="list-style-type: none"> ・4月～合理的配慮コーディネーター、合理的配慮協力員等の委嘱。 ・授業参観、特別支援学級・通常学級での合理的配慮提供のための協力。 ・教育相談での助言。 			
2	<ul style="list-style-type: none"> ・7月～個別の指導計画をもとに合理的配慮の内容について検討。 ・8月校内研修会開催。 ・湖南省特別支援教育研修会の開催。(関係機関との連携について) 			
3	<ul style="list-style-type: none"> ・9月～授業参観、特別支援学級での合理的配慮提供のための協力、教育相談の継続。 ・担当者との意見交流。 			
4	<ul style="list-style-type: none"> ・1月～取り組んだ合理的配慮の検証を行い、個別の指導計画に記載。 ・3月専門家チーム会議での検証。校内委員会でのまとめ。 			

(達成度) A:計画どおり達成 B:計画を80%達成 C:計画を50%以上達成 D:計画の達成が50%未満

令和4年度末（事業終了後）のすがた

合理的配慮コーディネーター、発達障害支援コーディネーター、合理的配慮協力員、教育相談員、学校支援員を計画通り配置し、インクルーシブ教育の土台となる人的な基礎的環境整備を行います。
支援を要する児童・生徒が必要な機関につながり、個別の指導計画に基づく目標達成を実感できる学習環境を整えます。

事業執行にあたり問題（懸念）となること

依頼希望は多数あるものの、限られた人数での対応のためすべての依頼に応えることができにくい状況があります。
児童・生徒の状況や学校行事等の関係で授業参観の希望時期が重なることも予想され、執行時期が偏る可能性があります。
専門性のある担当者を確保することが難しくなっているため、継続的に依頼できるように長期的な視野で事業が進められることが望ましいです。



総合評価

(今年度の成果、今後の事業展開、改善事項等)

達成度

(達成度) A:計画どおり達成 B:計画を80%達成 C:計画を50%以上達成 D:計画の達成が50%未満

<国・県への要望事項>

事業執行にあたり支障となった事項

--

国に対する要望

県に対する要望

--	--

<事業実施計画>

事業名	文化財保護対策事業			
事業期間	令和4年度	～	未定	総合戦略 (3) — ①



区分	継続	会計区分	一般会計	担当部署	部(局)	環境経済部
					課(室)	商工観光労政課

事業目的	市内にある文化財を知ってもらい、愛着を持ってもらうことを目的としています。また、指定文化財を適正に管理してもらうことを目的としています。
事業内容	文化財展および文化財講座の実施。 指定文化財の管理や改修、防災設備等の修繕に対する補助。



国宝長壽寺本堂

<財政計画>

年度	令和4年度		～	令和6年度	
行動計画	令和4年度	令和5年度	令和6年度	財源内訳	
	文化財展の開催 文化財講座の実施 指定文化財管理補助 指定文化財修理補助(常楽寺防災設備修繕、長壽寺県指定聖観音曼荼羅図修繕)	文化財展の開催 文化財講座の実施 指定文化財管理補助 指定文化財修理補助(長壽寺県指定聖観音曼荼羅図修繕、善水寺屋根葺き替えに伴う耐震診断・耐震補強)	文化財展の開催 文化財講座の実施 指定文化財管理補助 指定文化財修理補助(善水寺屋根葺き替え)	国庫	千円
				県費	千円
				地方債	千円
				その他	952 千円
予算	2,469 千円	6,342 千円	6,014 千円	一般財源	13,873 千円
				合計	14,825 千円

<令和4年度 主要事業進捗管理>

点検・評価				
四半期	計画	実績	達成度	計画より実績が下回っている理由 および対策
1	5月 文化財講座の企画 5月 文化財展の企画			
2	7月から8月 文化財展の実施 9月 文化財講座の実施 9月 文化財展の企画			
3	10月文化財講座の企画 11月～12月 文化財展の実施 11月～12月 指定文化財管理補助金 申請提出依頼			
4	1月 文化財講座の実施 2月～3月 指定文化財管理補助金実 績報告提出依頼 3月 指定文化財管理補助金交付			

(達成度) A:計画どおり達成 B:計画を80%達成 C:計画を50%以上達成 D:計画の達成が50%未満

令和4年度末（事業終了後）のすがた

【文化財展および文化財講座】文化財展と文化財講座が終了しています。
指定文化財の管理や改修、防災設備等の修繕に対する補助】文化財を保護するために必要な事業費について、管理所有者から実績報告が提出され、補助金の交付をしています。

事業執行にあたり問題（懸念）となること

新型コロナウイルス感染症防止対策に十分注意をしたうえで、講座を実施する必要があります。
国や県指定の文化財修理については、所有者のほか国や県と調整をしていく必要があります。



総合評価

(今年度の成果、今後の事業展開、改善事項等)

達成度

(達成度) A:計画どおり達成 B:計画を80%達成 C:計画を50%以上達成 D:計画の達成が50%未満

<国・県への要望事項>

事業執行にあたり支障となった事項

--

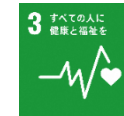
国に対する要望

県に対する要望

--	--

<事業実施計画>

事業名	社会体育施設管理運営事業		
事業期間	令和4年度 ～ 未定	総合戦略	(7) — ⑧



区分	継続	会計区分	一般会計	担当部署	部(局)	総合政策部
					課(室)	文化スポーツ課

事業目的	社会体育施設において、利用者が継続して便利に、安全に、安心して利用できる施設整備を行う。
事業内容	高齢者や障がい者等の移動や利便性・安全性の向上を図るため、総合体育館トイレバリアフリー化等工事等を行う。



(総合体育館)

<財政計画>

年度	令和4年度 ～ 令和6年度				
行動計画	令和4年度	令和5年度	令和6年度	財源内訳	
	・総合体育館トイレバリアフリー化等工事 ・総合体育館防火設備工事 ・総合体育館非常放送設備更新工事	・総合体育館屋根等改修工事	・総合体育館駐車場舗装工事	国庫	千円
				県費	7,000 千円
				地方債	39,600 千円
				その他	千円
予算	46,624 千円	34,561 千円	24,200 千円	一般財源	58,785 千円
				合計	105,385 千円

<令和4年度 主要事業進捗管理>

点検・評価				
四半期	計画	実績	達成度	計画より実績が下回っている理由 および対策
1	4月 入札準備 4月 契約審査会 5月 入札 6月 契約 6月 工事着手			
2	7月～9月 契約業者および各施設との現地調 査・工事工程等の調整			
3	10月～12月 工事			
4	1月～3月 工事 3月 工事完了			

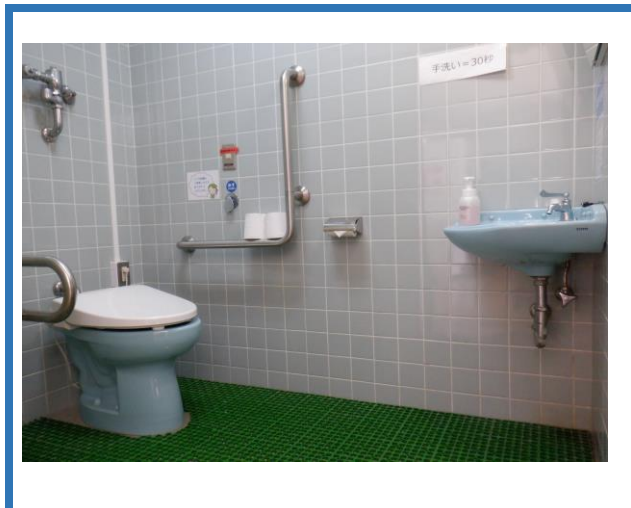
(達成度) A:計画どおり達成 B:計画を80%達成 C:計画を50%以上達成 D:計画の達成が50%未満

令和4年度末（事業終了後）のすがた

総合体育館のトイレバリアフリー化等工事が完了しています。

事業執行にあたり問題（懸念）となること

特筆すべき事項はありません。



総合評価

（今年度の成果、今後の事業展開、改善事項等）

達成度

（達成度） A:計画どおり達成 B:計画を80%達成 C:計画を50%以上達成 D:計画の達成が50%未満

<国・県への要望事項>

事業執行にあたり支障となった事項

--

国に対する要望

県に対する要望

--	--

<事業実施計画>

事業名	図書等整備事業		
事業期間	令和4年度 ～ 未定	総合戦略	() —



区分	継続	会計区分	一般会計	担当部署	部(局)	教育部
					課(室)	図書館

事業目的	市民の豊かな読書生活と知る自由を保障する機関として、多様化する市民ニーズに応えるため、常に新鮮で豊富な資料と情報を提供します。また、郷土資料の収集と電子化を進め、地域文化を発信します。
事業内容	生涯学習社会にあつて、図書館は資料収集・提供の機能を担っており、多様化する市民ニーズに応え、豊富な資料を確保するために、年度を通じて定期的に新鮮かつ十分な図書等の資料を購入し、整備します。



(甲西図書館)

<財政計画>

年度	令和4年度 ～ 令和6年度				
行動計画	令和4年度	令和5年度	令和6年度	財源内訳	
	・図書等資料の購入・整備 (15,000千円)	・図書等資料の購入・整備	・図書等資料の購入・整備	国庫	千円
予算	19,915 千円	19,915 千円	19,915 千円	県費	千円
				地方債	千円
				その他	44,277 千円
				一般財源	15,468 千円
				合計	59,745 千円

<令和4年度 主要事業進捗管理>

点検・評価				
四半期	計画	実績	達成度	計画より実績が下回っている理由 および対策
1	4月 入札準備 4月 契約審査会 5月 入札 6月 納入業者と契約 図書は毎週開催する選書会議に基づき 発注・受入・排架 第1四半期は3,750千円執行			
2	図書は毎週開催する選書会議に基づき 発注・受入・排架 第2四半期は3,750千円執行 (累積7,500千円執行)			
3	図書は毎週開催する選書会議に基づき 発注・受入・排架 第3四半期は3,750千円執行 (累積11,250千円執行)			
4	図書は毎週開催する選書会議に基づき 発注・受入・排架 第4四半期は3,750千円執行 (累積15,000千円執行)			

(達成度) A:計画どおり達成 B:計画を80%達成 C:計画を50%以上達成 D:計画の達成が50%未満

令和4年度末（事業終了後）のすがた

新刊図書を購入し、不用図書を廃棄し、常に新鮮な蔵書が維持されています。また、新聞・雑誌・官報等を整備し市民へ提供します。

事業執行にあたり問題（懸念）となること

市民の豊かな読書生活と知る自由を保障する機関として、多様化する市民ニーズに応えるべく、常に新鮮で豊富な資料の確保に努めるため、資料選定については定期的に行う必要があります。

また、児童書については特に利用が多いため、汚損、破損する資料も多く、必要性を十分検討しながら、買い替えを含めた計画的な資料の収集を行う必要があります。



(石部図書館)

総合評価

(今年度の成果、今後の事業展開、改善事項等)

達成度

(達成度) A:計画どおり達成 B:計画を80%達成 C:計画を50%以上達成 D:計画の達成が50%未満

<国・県への要望事項>

事業執行にあたり支障となった事項

--

国に対する要望

県に対する要望

--	--